

JR室蘭線 実証事業 実施報告書

令和8年2月

JR室蘭線活性化連絡協議会
(岩見沢市、栗山町、由仁町、安平町、苫小牧市)

◇目的

室蘭線沿線（沼ノ端～岩見沢）に居住している住民で、普段は室蘭線を利用していない住民を対象として、JRの1日乗車券を無料配付し、お試し利用してもらうことで、沿線住民に対する室蘭線の利用意識の醸成を促す。

沿線住民アンケート調査の実績と効果

調査目的

室蘭線沿線住民の生活利用・観光利用に対する課題を整理し、今後の室蘭線活性化連絡協議会での実施事業の検討に活用する。

◇対象区間：沼ノ端～岩見沢

◇実施期間：令和7年7月～12月

◇募集人数：300人

◇申込人数：300人

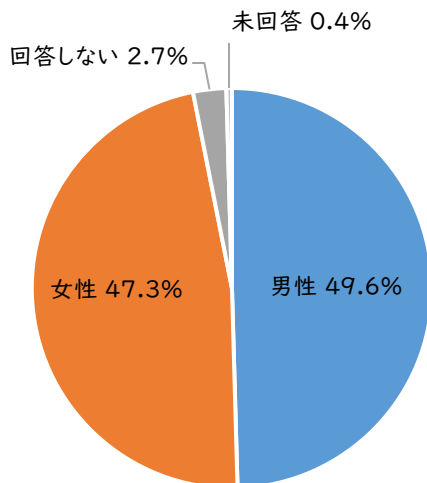
◇アンケート回収数：224人（回収率74.7%）

※募集定員を超える応募があったため、途中で締め切り。

沿線自治体別回収状況

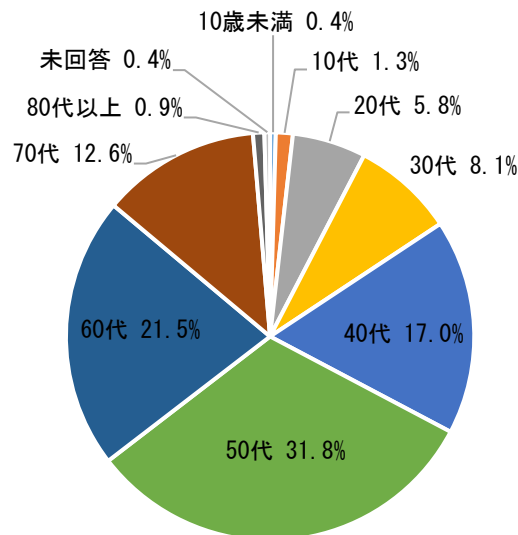
市町	参加者数	回答数	回収率
岩見沢市	100	81	81.0%
栗山町	33	25	75.8%
由仁町	34	21	61.8%
安平町	33	29	87.9%
苫小牧市	100	67	67.0%
未回答	—	1	—
計	300	224	74.7%

《性別》



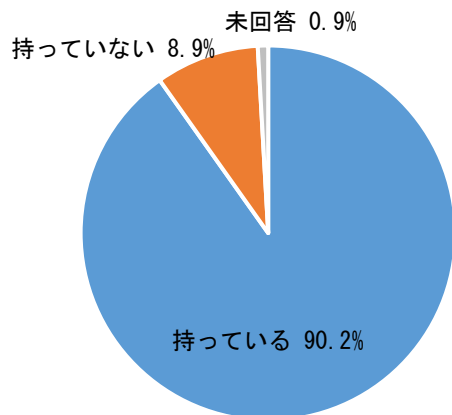
●男女の割合は概ね1：1の割合

《年代》

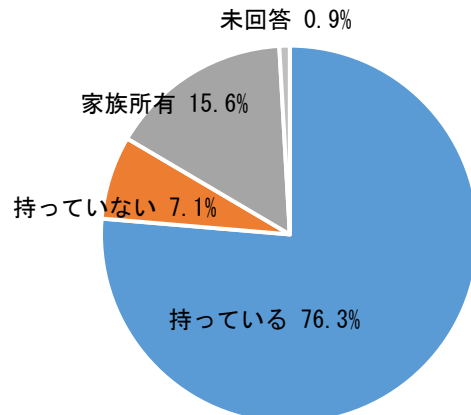


●50代が31.8%と最も多く、次いで60代が21.5%、40代が17.0%となっている。

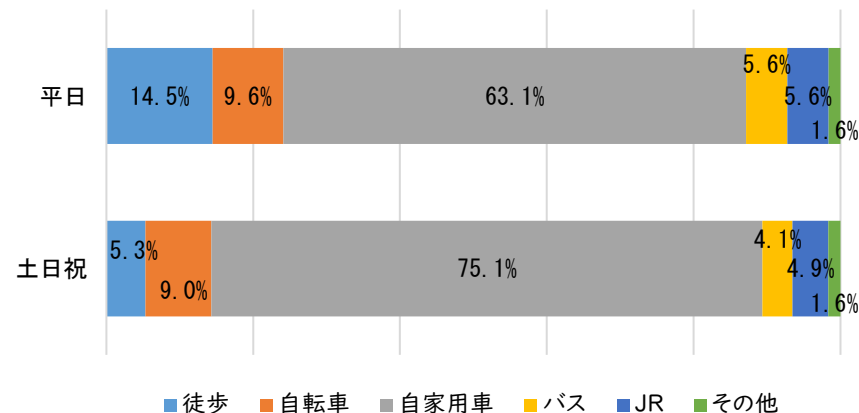
《自動車免許の保有状況》



《自由に使える自家用車》

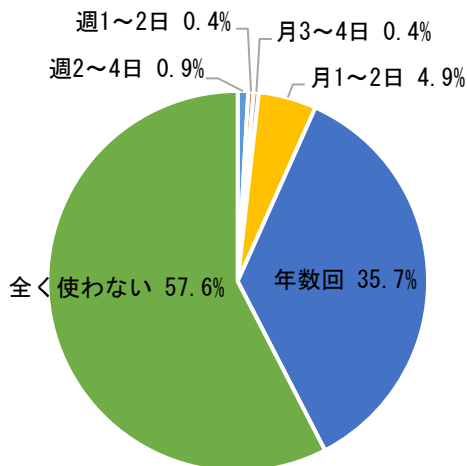


《普段の主な移動手段》

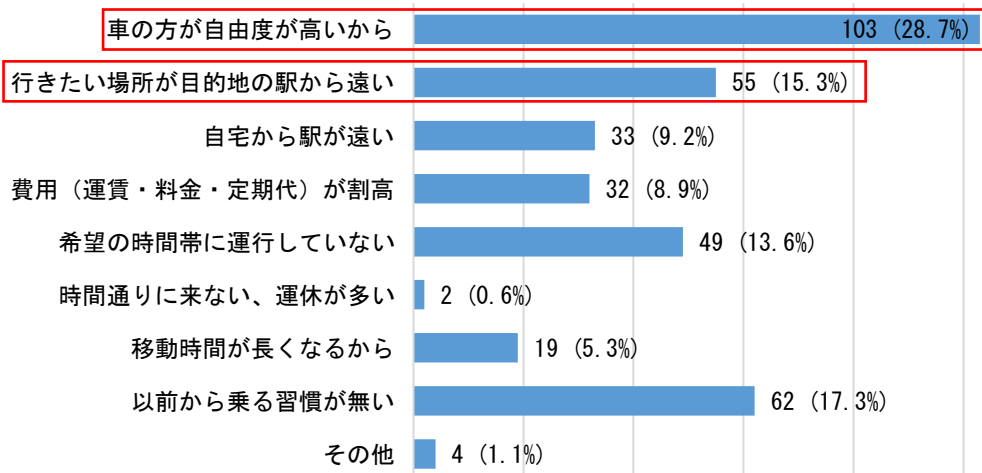


- 回答者のうち、90%以上が自動車の免許を保有しており、自由に使える自家用車を所有している割合も75%以上である。
- 普段の主な移動手段は自家用車となっており、平日と休日で公共交通機関の利用の変化はほとんどない。
- ⇒ 本モニターに参加者は、公共交通しか手段がない層ではなく、「**普段は車を選ぶことができる**」層である。

《室蘭線を使っの外出》



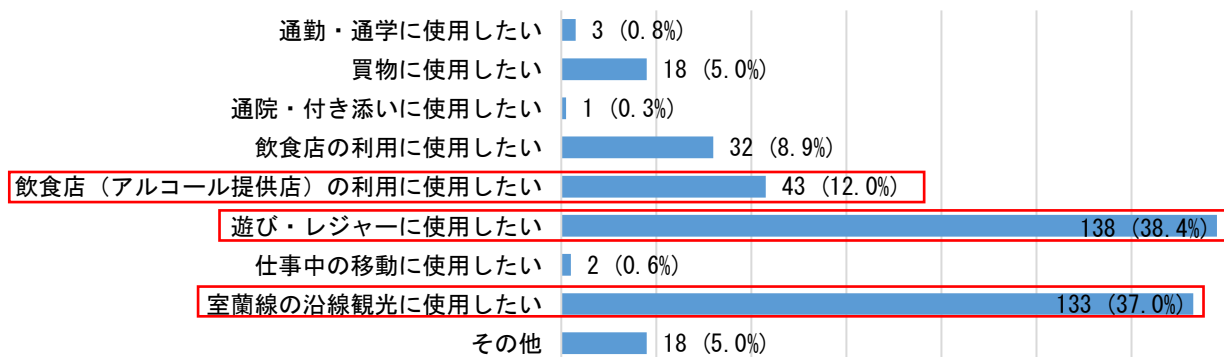
《室蘭線を使わない理由》



- 室蘭線を使っの外出の状況では、「全く使わない」と「年数回」と回答した人が9割以上となっている。
- 室蘭線を使わない理由としては、「移動の自由度の高さ」や「駅から目的地までの距離」が要因となっている

《モニター応募のきっかけ》

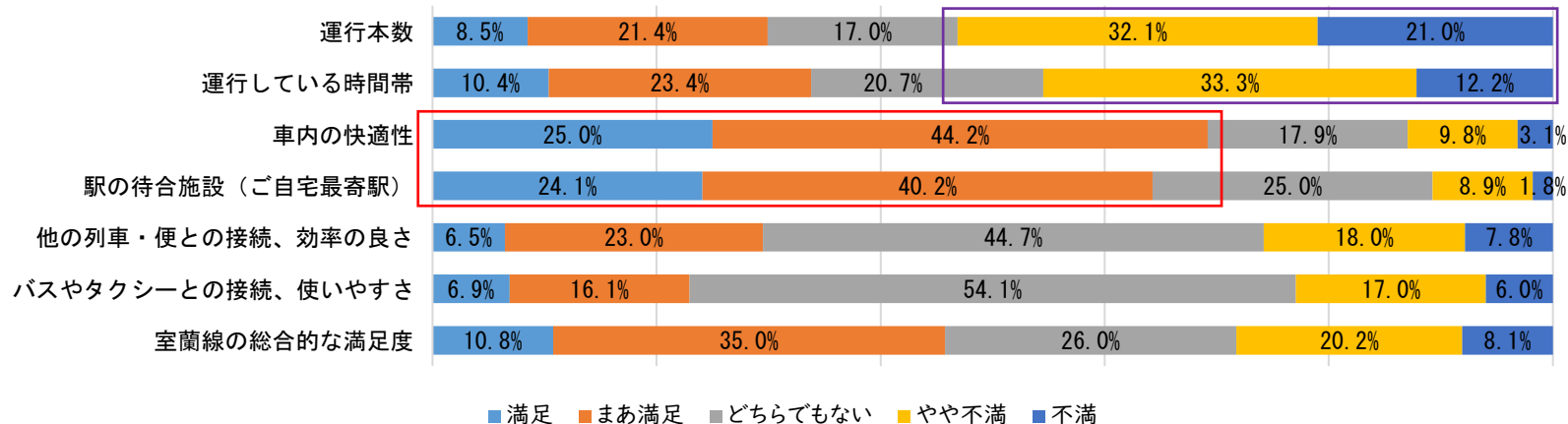
※複数回答あり



●モニター応募のきっかけでは、観光・遊び・レジャーと回答した割合が高く、日常生活の移動手段を理由とした回答の割合は低い。
 ●飲食店（アルコール提供店）と回答した割合も12%あり、普段は自家用車で移動している層でも、アルコールを楽しむ旅程を組んでいる。

⇒モニター参加者の関心は、移動そのものではなく、移動先での体験（観光・遊び・レジャー・飲食）にある。

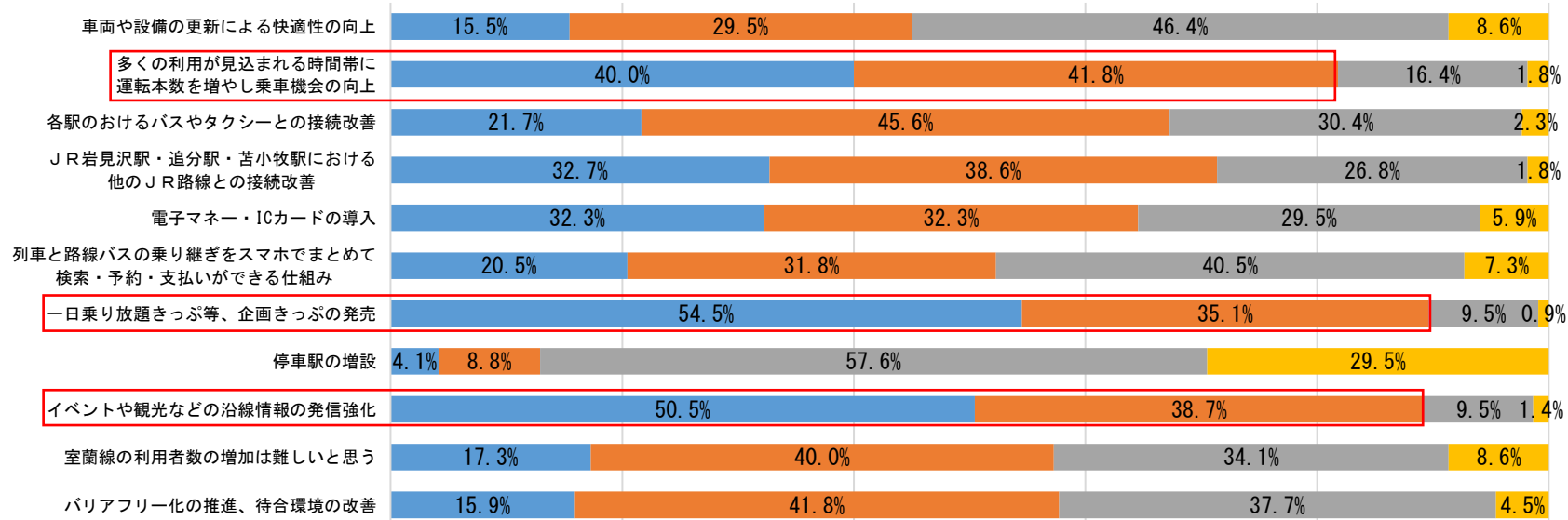
《室蘭線の利用満足度》



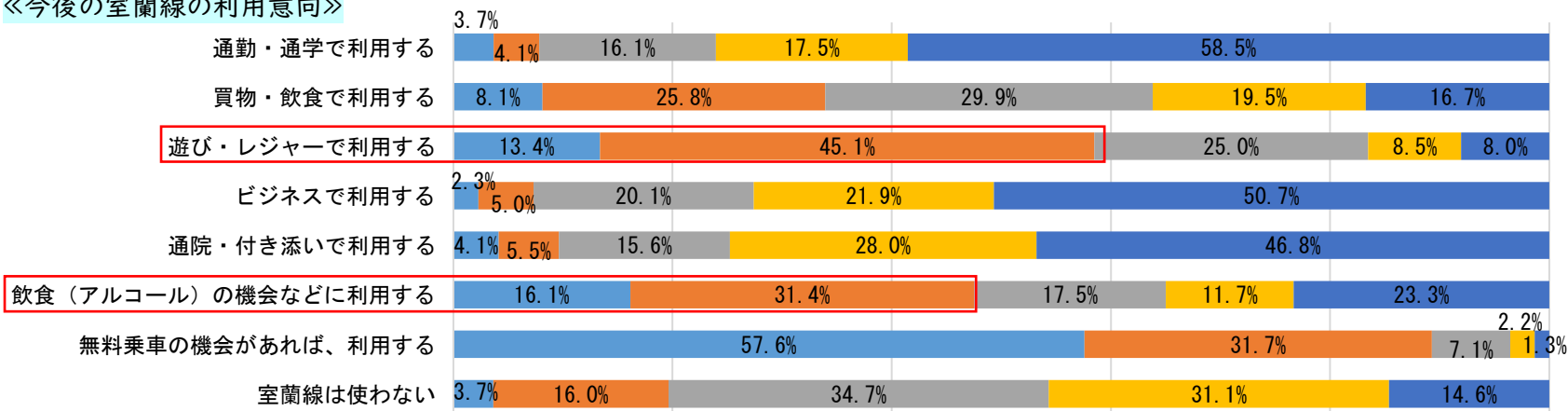
●満足度が高い項目としては、車内の快適性、駅の待合施設となっており、移動空間としての快適さと非日常空間が評価されている
 ●満足度が低い項目としては、運行本数、運行している時間帯となっており、待ち時間の増加等により利便性が損なわれている。
 ●自由記述では、鉄道ならではの楽しみとして、「アルコールが楽しめる」や「自由に景色を楽しめる」といった自家用車にはないメリットを享受できている意見がある一方で、窓ガラスが汚すぎて景色を楽しめなかったという意見もある。

⇒ダイヤに関する不満が顕著であり、他の交通機関との相互補完を前提とした効率的な交通ネットワークの形成や休日における需要を踏まえた適正なダイヤ設定を検討する必要がある。

《利用者を増やすための改善策》



《今後の室蘭線の利用意向》



《自由記述意見》

①観光利用に関する意見

- ・観光で利便性の高さ使い勝手などを中心に知る機会になった。自家用車に比べて行きたい時間行きたい場所にピンポイントで行ったり臨機応変さでは良いが、道中に運転がない、アルコールを楽しむ工程を考えられる、自由に景色を楽しんだりする自由が得られるのが魅力だと思う。
- ・窓ガラスが汚れており、景色がまともに見られなかった。カメラの出番がなかった。せっかくの風景が見えない。
- ・ガタンゴトンという揺れが心地よかった。
- ・運転がないため景色を自由に楽しめた。
- ・非日常的な空間、風景を身近で堪能することができる、稀有な路線だと思う。収支面だけでの検討であれば、正直なところ全くペイしないだろう。今回は「目的地を目指す」ではなく、乗車自体が目的だったが、素晴らしい体験だった。
- ・今回観光として利用するにあたり、JR移動での各町の観光モデル(日帰りのモデルコース)が少なく、調べるのに苦労した。初めての利用のタイミングが今後の利用の大きなきっかけになると思うので、市町村にモデルルートを考えてもらうと良いと感じた。(特にJR降車あとの移動時間)
- ・自家用車の利便性が高すぎて、電車利用の検証する機会は全くなかったのもすごくこの企画は素晴らしいと感動しました。
- ・駅もきれいでコミュニティ施設が隣接していて住んでいる人には使いやすいと思った。レストランやカフェが魅力的なので、発信して知ってほしい。
- ・広報は必ず読むので、面白そうなイベントでアクセスも書いてあれば行くと思う。

②ダイヤ・接続に関する意見

- ・お昼時の運行せめてもう一本増やして欲しい4時間暇。お昼時にもう一本ないと暇を持て余す。
- ・苫小牧駅発～岩見沢駅までの13:22と17:16の間にもう1本あればもう少しゆっくり楽しめたかな。
- ・苫小牧駅からのアクセスがわかりにくいことに加え、日曜日の便数が少ない。市場へはタクシーを利用した。道南バスの運行時間を調整された。観光地として有名なぶらっと市場には、道南バスの乗り場やタクシーの乗り場がわかりやすく案内板を設置してほしい。
- ・岩見沢から追分駅経由で新千歳空港へのアクセスは魅力あり。但し、飛行機との時間がマッチした場合のみではあるが。
- ・土日祝日を減便すると、イベント利用しづらく平日客以上の利用者を見込めないのではないかと思います。なので、平日と休日の運行時間を新設してはどうでしょうか。平日→通学通院に合わせる、休日→経済活動時間に合わせるなど

③1日フリー切符に関する意見

- ・1日乗り放題というチケットがあること(栗山町民の購入方法はわからないままだけど)近場の観光なら料金が高くてつかないことがわかった。JRに限ってはモニターの資料の中にあった時刻表が秀逸。アナログのために、旅程を考えたりするのにとても役にたった。
- ・散策、観光に使える「一日散歩きっぷ」が手軽に入手できたら、さらに利用しますが、現状、入手するには当日近くの発行駅まで行く必要があって非常に使いにくい。

④飲食(アルコールを含む)との親和性に関する意見

- ・今回室蘭線の利用心地が確認できたので今後、岩見沢のイベント参加に利用することにします。自家用車だとアルコール飲料が飲めないが、アルコール飲みながらの旅行気分を味わえた。また利用したい。
- ・栗沢駅、栗山駅、由仁駅には良さ飲食店(アルコール有)があるので、うまくタイアップしたら、もっと利用したいと思う。
- ・JRのライバルはマイカーです。JRは寝てもお酒を飲んでても多人数でも移動できるのがメリットです。それを伸ばす取り組みを考える必要がある。

◇目的

自家用車で通勤している住民に対して、JR室蘭線定期券を無料配布することでJR通勤を体験してもらうと共に、今後の継続意向調査を行うことで、通勤定期券の拡販見込調査と継続利用につなげる。

通勤定期モニター事業

調査目的

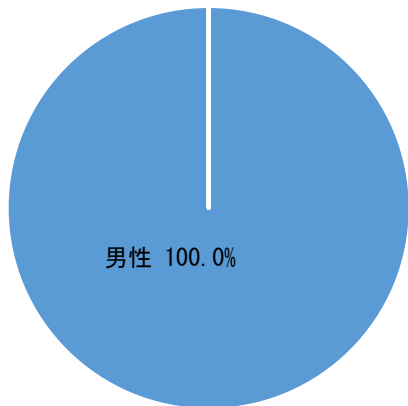
通勤利用における課題を整理し、今後の通勤定期券の拡販見込調査と継続利用につなげる。

- ◇対象区間 岩見沢～沼ノ端間を着・発駅とするもの
- ◇乗車券種別：通勤定期券（1か月）
- ◇実施期間：令和7年7月～12月
- ◇募集人数：30名
- ◇申込者数：5名
- ◇アンケート回収数：5件（100%）

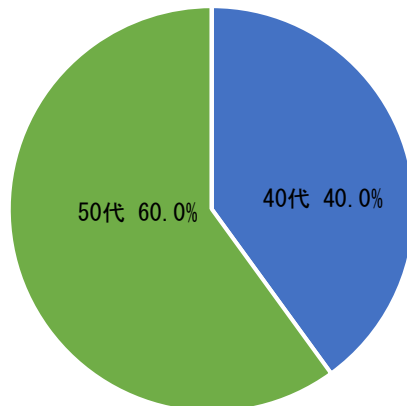
乗車区間別申込状況

乗車区間	申込数
(岩見沢市)	(4)
志文～岩見沢	2
栗沢～岩見沢	2
(苫小牧市)	(1)
苫小牧～岩見沢	1
計	5

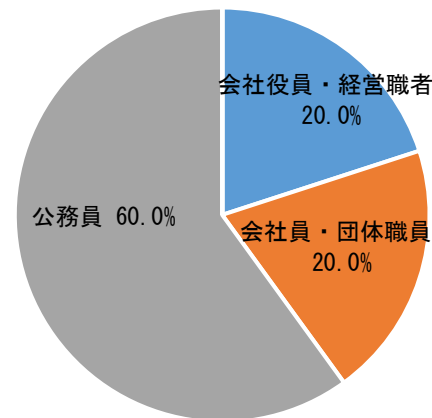
≪性別≫



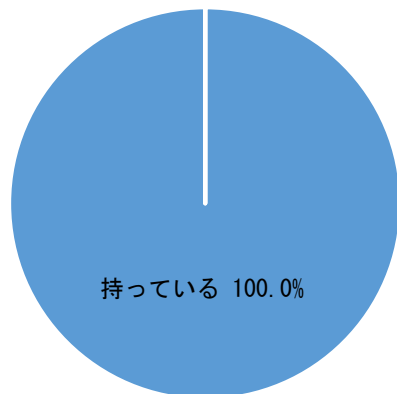
≪年代≫



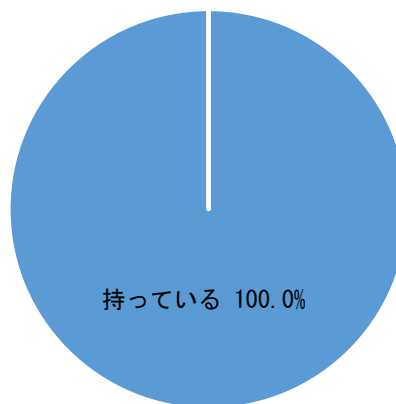
≪職業≫



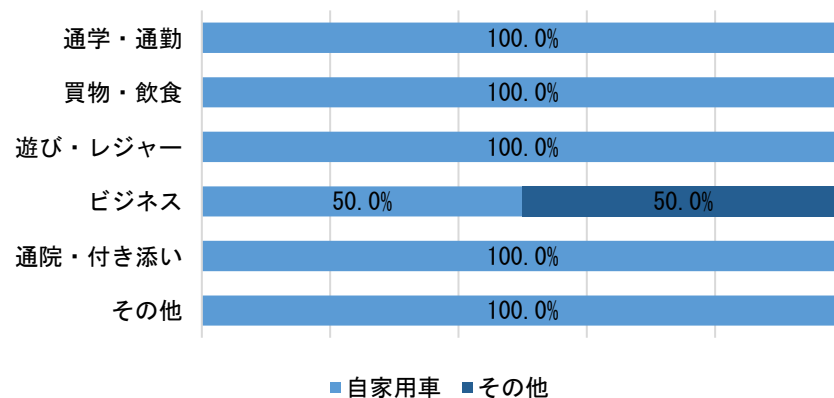
《自動車免許の保有状況》



《自由に使える自家用車》

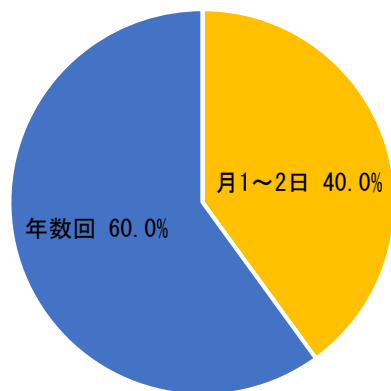


《普段の主な移動手段》

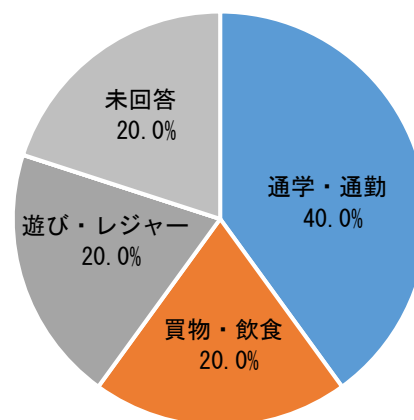


- モニター参加者は、全員自由に使える自家用車を保有しており、普段は移動手段は自家用車となっている。
- ビジネスでの移動手段では、自家用車をはじめ社用車や公用車を利用しており、公共交通機関の利用はない。

《室蘭線を使っの外出》

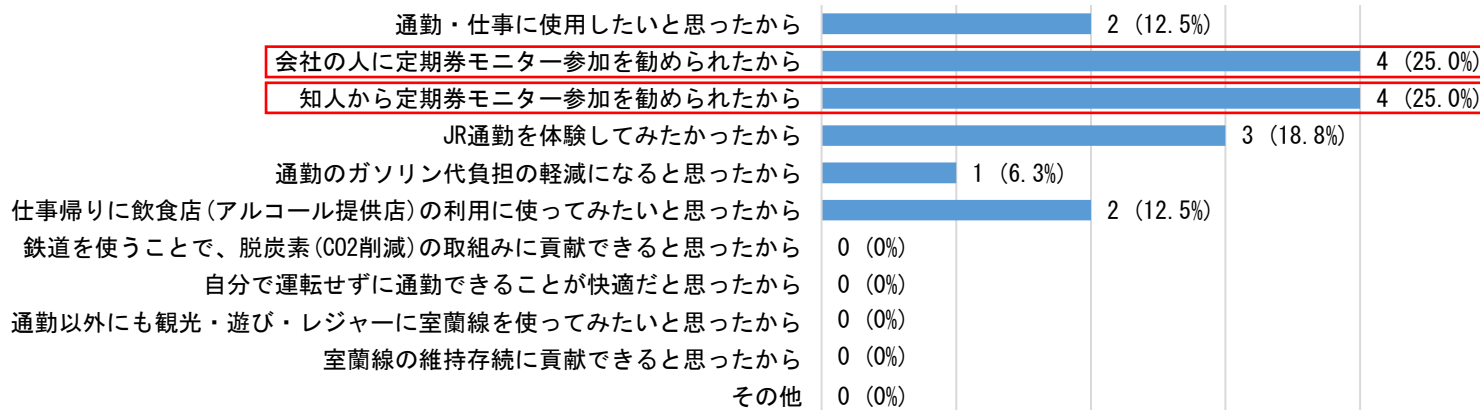


《室蘭線の利用目的》



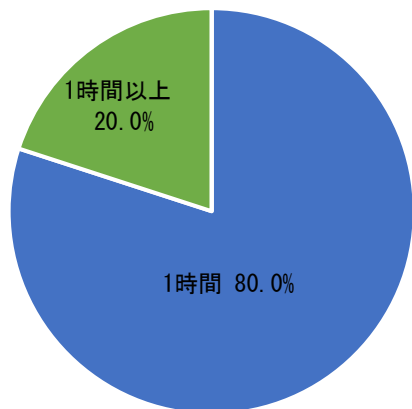
- 室蘭線の利用状況では、「月に1~2日」と「年数回」となっており、全く利用しない人はいない。
- 室蘭線の利用目的では、「通勤・通学」が最も多く、次いで「買い物・飲食」、「遊び・レジャー」となっている。

《モニター応募のきっかけ》

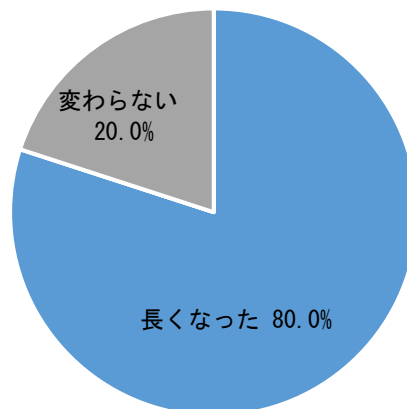


●モニター応募のきっかけでは、「会社の人や知人に勧められたから」が最も多い。

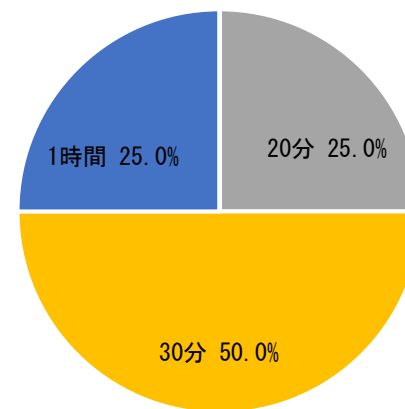
《職場までの通勤時間(室蘭線利用時)》



《自家用と比べてた通勤時間》

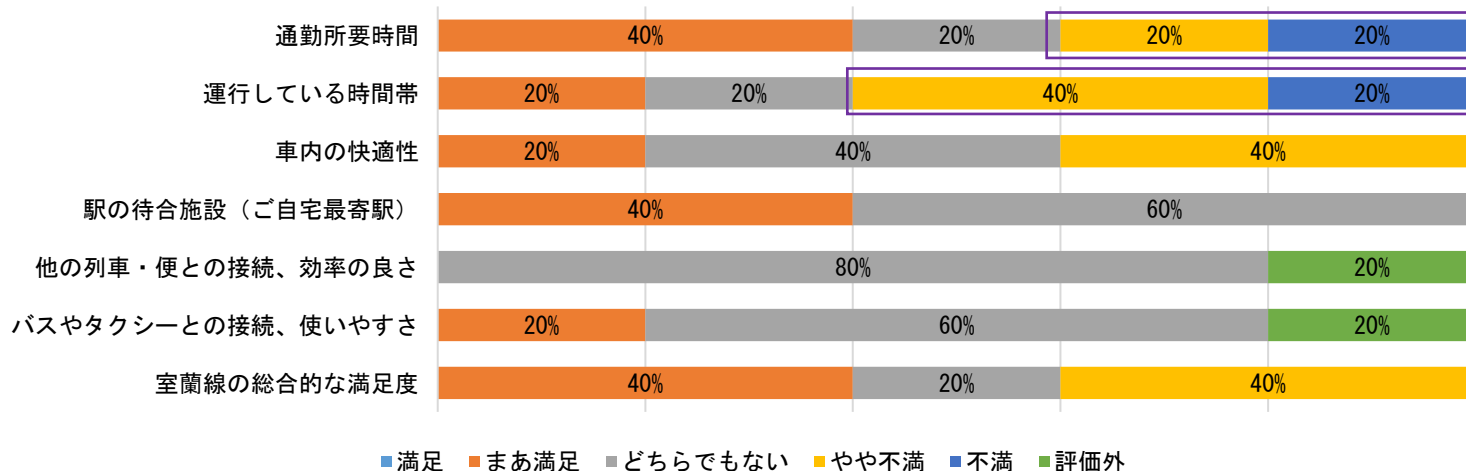


《長くなった時間》



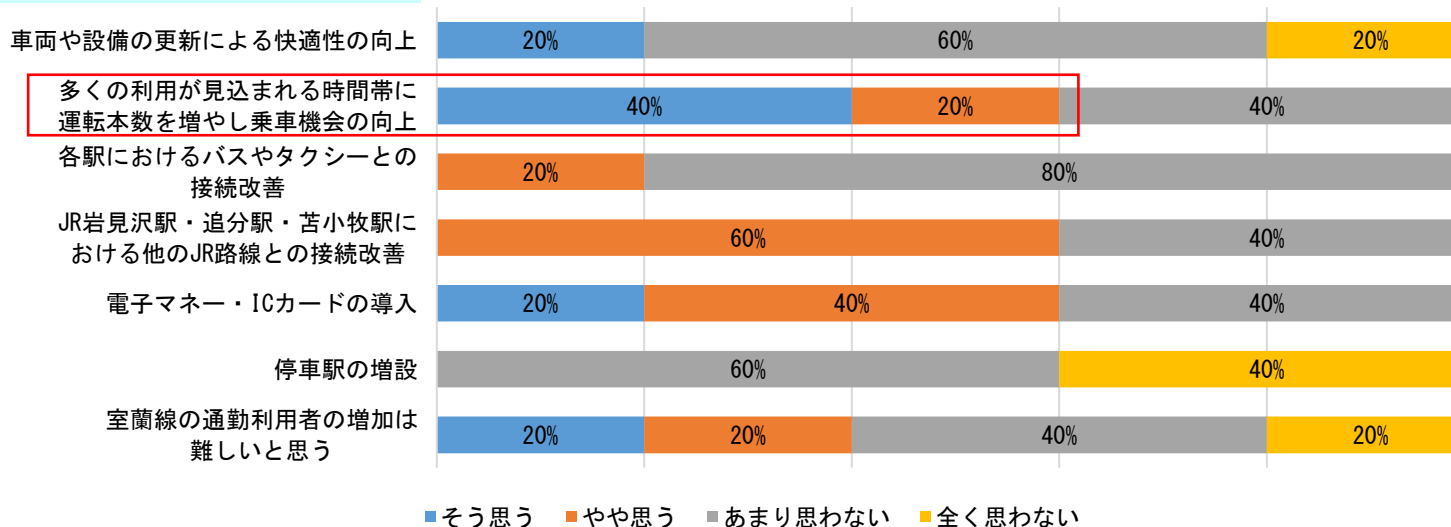
●職場までの通勤時間は、自家用車と比較して長くなっており、乗車区間によって異なるものの20分~30分の回答が多い。

《室蘭線の利用満足度》



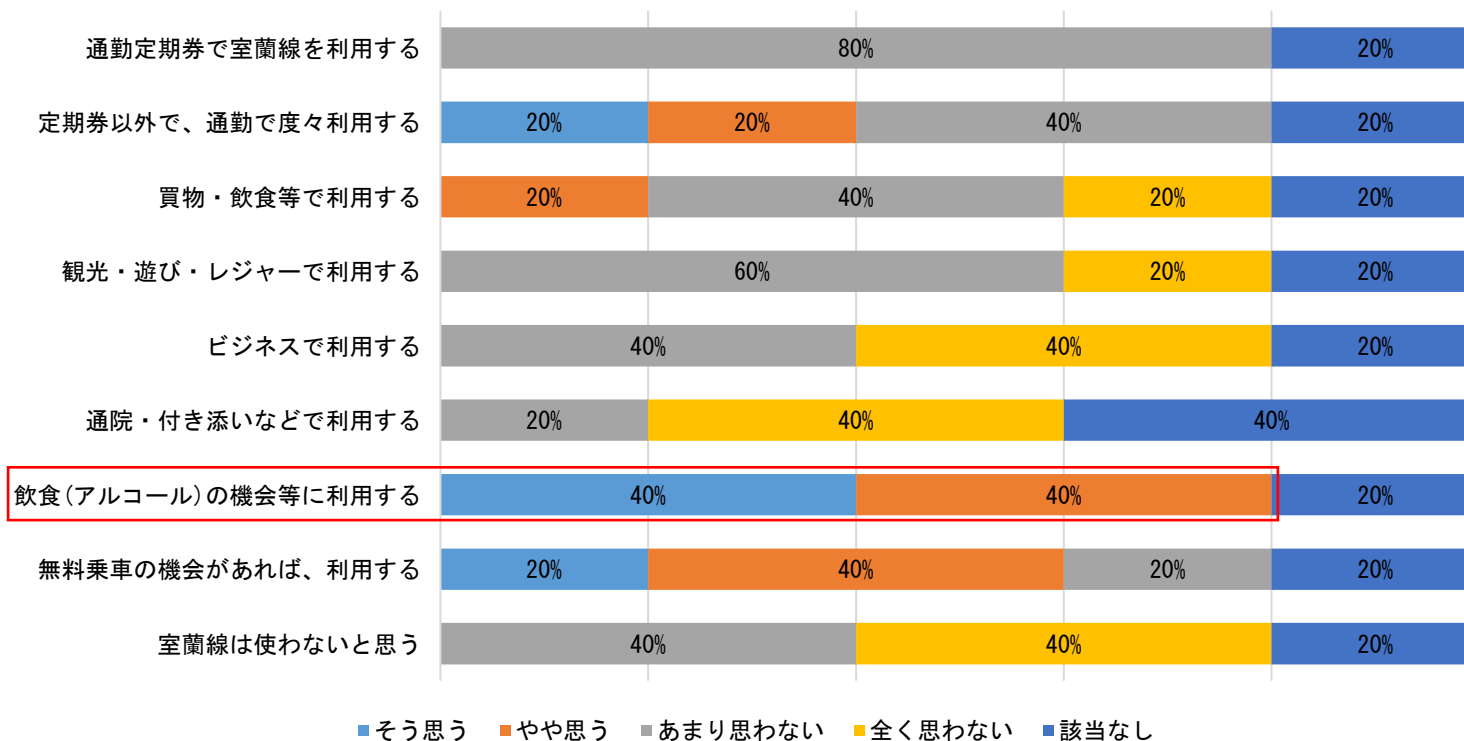
●いずれの項目でも「満足」の回答はなく、全体的な満足度は低い傾向にある。
 ●満足度の低い項目は、「通勤所要時間」・「運行している時間」となっており、時間のロスが満足度の低下につながっている。

《通勤利用者を増やすための改善策》



●今後の改善策として、適切なダイヤ設定を求める回答が多く、帰宅時間帯（18時台）における列車の設定が求められている。

《今後の室蘭線の利用意向》



●今後の利用意向では、アルコールを伴う飲食に際に利用には高い関心がある。

今後の事業の改善点

- ・アンケート調査の回答において、今後、通勤定期で室蘭線を利用する人は見込めず、自家用車からの転換は困難と考えられる。
- ・現状を上回る生活利用は見込めず、今後は生活利用の維持と札幌圏からの誘客を併せた利用促進の取組みを図る。